

2020. 7. 22 No.163



立科町 議会だより

目 次

町民の声	p2～3
意見書・要望書提出	p4
議案審議報告	p5～6
常任委員会報告	p7～8
一般質問	p9～11
議会の動き／編集後記	p12



蓼仙の滝 (蓼科区)

売上等多少影響はあったが、休業することなく仕事できた。

仕事するのにマスク関係が不足して困った。



やまうち つよし
山浦 剛さん
(細谷 金属塗装)

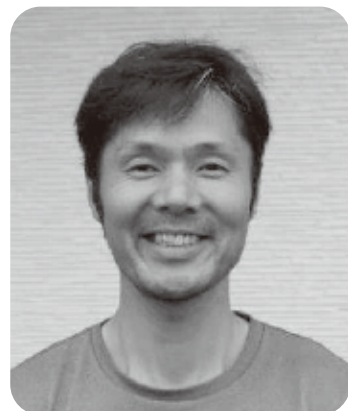
コロナ騒動で桜も小梨もシーンと咲いていた5月でした。キスゲの広がる季節も間近。たくさんの方に見ていただける高原になりますように。

今春、高校を卒業した息子の行く学校が、やっと6月の中旬に始まるという事で東京に送り出しました。コロナに感染しないように祈るばかりです。近況報告をLINEなどで連絡を取りながら過ごしています。



たけしげ えつこ
武重 悦子さん
(町 小売業)

注文のあった会社が、感染症で営業がストップ。納品延期となり、見込んでいた収入が入らなくて困っています。



なかむら すすむ
中村 収さん
(柳沢 鉄工板金)

【町独自のコロナ対策】 6月末現在

- ・こども弁当の補助600円のお弁当を300円で
- ・15%以上の収入の落ち込みの事業者へ10万円支給
- ・町民一人ずつに1万円／子育て家庭に2万円支給
- ・町民に飲食券1,000円分送付
- ・町外の学生に町の特産品(コメ・リンゴジュースなど)を送付
- ・町内の宿泊施設に泊まった時5,000円相当の補助制度(555GO! STAY信州 in たてしな)



ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。



なかの かずや
中野 和哉さん
(桐原 飲食業)

コロナウイルスは大変恐ろしく、真剣に考えなければいけないし、長期戦の構えが必要です。経済対策はとても重要です。議員も職員も、体に気を付けて頑張る。



しみず たかし
清水 孝さん
(町 ほっとステイたてしな事務局長)



ながい あきえ
永井 明栄さん(上房 農業)

富山の大学に行っている孫が『立科町からの贈り物にととてもうれしかった』と言っていました。



こばやし しげお
小林 茂夫さん
(茂田井)

「三密」が耳慣れた頃、「ソーシャルディスタンス」(人との間合いを取る)が登場した。「物理的に避ける」から、「如何に社会的に立ち戻るか」に、軸足が移る。

都会の子どもたちに、『食べ物をつくるってこんなこと』というのを感じてほしくて、ほっとステイを受け入れてきたが、今年はすべて中止になり、とても寂しい。



こばやし ひろかず
小林 裕和さん
(西塩沢 農業)

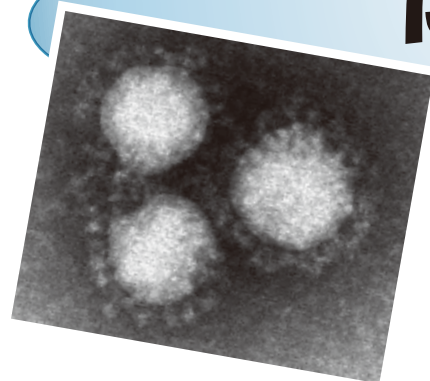


なかむら かずよし
中村 和栄さんご一家(柳沢 鉄工板金)

こども弁当補助券家族で使わせていただきました。すごく助かりました。

町民の 声

新型コロナウイルス に思う...



令和2年 第2回 定例会

令和2年第2回定例会を6月3日から6月12日までの10日間の会期で開き、条例制定・改正や補正予算などについて審議を行い、全ての議案などを可決・承認・同意・採択した。



専決処分の承認

承認 地方税法等の一部改正によるもの2件を承認。

◇立科町町税条例等の一部を改正する条例

◇立科町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

承認 令和元年度の事業実績による補正予算を専決したもの7件を承認。

◇令和元年度立科町一般会計補正予算(第7号)

◇令和元年度立科町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

◇令和元年度立科町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

◇令和元年度立科町介護保険特別会計補正予算(第3号)

条例の制定

◇立科町長等の給料の減額に関する条例制定について

可決 町長・副町長・教育長の給料減額について条例制定するもの(新型コロナウイルス関連)。

可決 立科町消防団員等の一部を改正する条例ほか6条例の一部改正。

令和2年度補正予算

可決 一般会計補正予算(第3号)ほか2

◇令和元年度立科町下水道事業特別会計補正予算(第3号)

◇令和元年度立科町白樺高原下水道事業特別会計補正予算(第2号)

◇令和元年度立科町白樺湖特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

町長に要望書を提出(令和2年6月25日)

「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」

立科町議会では、町のこれまでの感染症対策事業の検証や評価等に基づき、今後、町民の安全・安心を最優先に、更なる住民生活の安寧と町内経済の安定持続が図られるよう、町長に対して次の10事項について要望書を提出しました。

- 1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を有効活用すること。
- 2 生活困窮者への相談体制の強化及び支援の拡充を図ること。
- 3 正確でわかりやすい情報提供に努めること。
- 4 自然災害等に備え、感染症の拡大防止に向けた避難所の確立を図ること。
- 5 感染症予防物品(マスクや消毒液等)の備蓄に努めること。また、必要に応じて町内の医療機関や介護施設等に提供すること。
- 6 小中学校の児童・生徒の教育環境整備や心のケア等に努めること。
- 7 立科町出身の学生支援の拡充を図ること。
- 8 誹謗中傷、風評被害、人権侵害等が発生しないよう対応を図ること。
- 9 業務に当たる職員の健康面等への配慮を図ること。
- 10 佐久地域等の市町村と協力連携し、感染症の検査体制の拡充や観光振興等の推進を図ること。



森本議長・榎本副議長から
両角町長へ要望書提出

同意

◇立科町農業委員会の委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることについて同意を求める件

同意 農業委員会の委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とするもの。

◇立科町農業委員会の委員任命について同意を求める件

同意 13人の農業委員会委員任命。

陳情

◇医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情書

発議

◇医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書の提出について
全会一致で可決。

その他

◇長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について
麻績村筑北村学校組合及び東筑摩郡筑北保健衛生施設組合の解散による脱退を承認・可決。

臨時会

第2回臨時会
令和2年4月14日、臨時会が開かれ、原案のとおり可決した。

◇令和2年度立科町一般会計補正予算(第1号)

第3回臨時会

令和2年5月12日、臨時会が開かれ、原案のとおり可決した。

◇令和2年度立科町一般会計補正予算(第2号)

◇新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書(右ページ参照)

討 論

◇賛成

今井 英昭
条例の一部を改正する
条例では、新型コロナウイルス
イルス感染症等に関わる
特例の追記等の説明があ
り、必要事項のため賛成
する。

補正予算の歳入は、新
型コロナウイルスのため、
事業中止に伴う減額等
の説明があった。歳出は、
地方創生促進交付金を活
用したテレワーク事業を
発展的に捉えた「小規模
自治体の多様な働き方モ
デル創出事業」の営業力
強化のコンサルティング
受託等の説明を受けた。
大きな視点で見れば成長
分野であるクラウド産業
振興の一つと捉え、町に
とって今後の付加価値と
活性化、また潜在的資源
の活用を更に実現するよ
うに期待している。

◇賛成

村田 桂子
国民健康保険条例の一
部改正は、新型コロナウ
イルス感染症の蔓延を受
けて、国保加入の被雇用
者に「傷病手当の支給を
新設する条例」で、経済
的困窮への懸念を減する
もので時宜にかなったも
のとして賛成する。

陳情第3号は2022
年以降の医学部定員を減
らす政府の方針について
見直しを求めるもの。
今回の新型コロナウイルス
イルス感染症への初期対応
の遅れやPCR検査の少
なさ、保健所の数や職
員数をほぼ半減させたこ
とにあると指摘される。
患者の対応にあたる医
師や看護師の数が足りな
いために、感染症患者を
受け入れれば、それ以外
の患者への対応を中止せ
ざるを得なくなった事態
も生まれた。医師は足り
ない。診療報酬の増額な
ど他の課題もあるが「ま
ずはこれ以上医師の数を
減らさないで」という切
実な現場からの陳情に賛
成する。

◇陳情第3号に反対

榎本 真弓
医師養成定員を減らす
政府方針の見直しを求め
る陳情書

現在の医学部大学生が
医師になるのは研修後の
11、12年後であり、アフ
ターコロナ・ウィズコロ
ナの次世代社会の議論で
ある。
医学部定員増だけでは
医師不足は解消せず、最
大の原因である医師偏在
を解消すべきである。社
会保障審議会医療部会
では、医師養成課程を通じ
た偏在対策のスケジュー
ルが示されており、令和
4年以降は「医師の働き
方改革に関する検討会」
で、医師の偏在対策・勤
務時間の適正化など、医
師需給推計を基に養成数
の方針を見直す計画。少
子を迎える社会の医師数
や連動しておこる様々な
課題を同時に考えるべき
である。
コロナ対策の医療従事
者の皆さまに敬意を表し、
医療・地域偏在・地域医
療崩壊を防ぐ問題解決へ
向け、立科町議会独自の
意見書を提出することを
望み、この陳情は不採択
とする。

総務経済常任委員会

所 管 総務課・企画課・農林課・観光課・会計室・議会事務局
委員長／今井 清 副委員長／今井英昭
委 員／森本信明 田中三江 中村茂弘 中島健男

6月10日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。

質 疑



◎立科町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について

Q 改正内容は。

A 令和元年11月の給与法の一部改正に伴い、俸給月額が改正されたことから、損害賠償額の算定基礎となる補償基礎額が改正されたもの。

◎立科町税条例の一部を改正する条例制定について

Q 改正内容は。

A 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における税制上の措置として、固定資産税のわがまち特例の特例率及び個人住民税の寄附金税額控除の特例を規定するもの。また、軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の適用期限を延長するもの。

◎立科町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について

Q 改正内容は。

A 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部改正によるもの。

◎令和2年度立科町一般会計補正予算（第3号）について

Q コミュニティ助成事業の内容は。

A 茂田井地区に滑り台、アスレチック用具を整備する。

Q ワイン用ぶどう栽培奨励事業補助金の内容は。

A 宇山・山部、十八塚から申請のあったワイン用苗木880本、トレリス35a分である。

Q 観光地森林整備の場所・面積は。

A 町道夢の平線沿いの夢の平キャンプ場か

活動報告

◎現地視察

令和元年度立科町一般会計補正予算（第1号）に予算計上され、事業実施された「令和元年度立科町地域情報通信機器更新」に係る現地視察を6月10日（水）に実施した。



蓼科ケーブルビジョン㈱の機械室（写真左）・放送室（右）



【更新機器等】

IP遠隔制御クライアントソフト（FM告知放送用パソコン）、FM告知センターパソコン、高機能スケジュールクライアントソフト、光伝送路監視装置等。



立科町役場庁舎放送室

通信機器のサポートが令和2年1月終了のため、立科町役場、白樺高原総合観光センター、蓼科ケーブルビジョン㈱に設置の対象通信機器等を更新し、防災行政無線、音声告知放送等の情報通信環境整備（ウイルス障害回避等）が実施された。

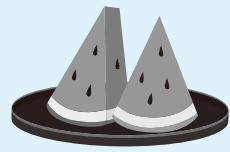
請 願 ・ 陳 情 の 審 査 結 果

受理番号	件 名	提 出 者	付託委員会	結 論
陳情第3号	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情書	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	社会文教建設 常任委員会	不採択 賛成少数

※結論は、付託委員会のもの。本会議において賛成多数により採択された。
※採択された陳情第3号は、国に対して意見書を提出した。

各議員の賛否結果（賛否の分かれたもの ○賛成 ●反対） ※議長は表決に加わらない。

議案番号	議案名	今井 健児	芝間 教男	中島 健男	中村 茂弘	今井 英昭	森澤 文王	今井 清	村田 桂子	田中 三江	瀧澤 壽美雄	榎本 真弓	結 果
陳情第3号	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情書	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	採 択



質問項目

今定例会では、議員5人が一般質問を行いました。

芝間 教男 議員 9ページ

- ①新型コロナウイルスについて
- ②防災について

今井 清 議員 10ページ

- ①危機管理対策の現状と課題について

中村 茂弘 議員 10ページ

- ①耕福館の利用料等について
- ②遊休町有地の進捗状況について

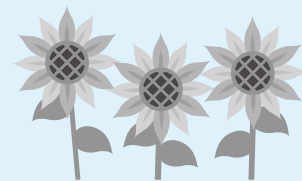
今井 英昭 議員 11ページ

- ①新型コロナウイルス感染症の対応について

村田 桂子 議員 11ページ

- ①新型コロナウイルス対策について
- ②町職員の働き方は改善されているか

※太字の質問を掲載。
議事録は議会ホームページで閲覧できます。



問 防災について

問 豪雨・地震・新型コロナウイルス等々を踏まえた防災対策は、
町長 感染症に対応する対策は、県の計画とも整合性を図りながら、見直しを行なって行きたい。
総務課長 公募で寄せられた意見は台風災害の早期復旧、また内容の言い

直し等を明確にする等改正を行なった。
感染症対応として、仕切り購入・収容人員の把握見直し等をする。
防災訓練に当たっては、今回の台風19号及び感染症の体験を踏まえた防災訓練を実施して行きたい。



柳沢部落避難一時訓練

問 新型コロナウイルスについて



芝間 教男

問 感染症対策について問う。
町長 限りある財源の中であり、財政組織の安定を図りながら対策を講じている。今後も適時に対応して対策を進めて行きたい。



問 町内で新型コロナウイルス感染症が発生した場合は。
町民課長 相談窓口の案内、消毒・心のケアについては、保健所等と連携して対応して行く。人権や風評被害に対する防止対策は広報誌等による啓発を行ない、相談があった場合は法務局の窓口や人権ホットライン等をご案内する。

社会文教建設常任委員会

所 管 町民課・教育委員会・建設環境課

委員長／森澤文王 副委員長／今井健児

委 員／榎本真弓 瀧澤壽美雄 村田桂子 芝間教男

6月9日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。

質疑 Q & A

- ◎立科町国民健康保険条例の一部改正する条例制定について**
Q 傷病手当金の新設は「新型コロナウイルス」による休業保障」だけを対象とするのか。
A そのとおり。
- ◎ほかの保険は、社長なども対象になつて**
Q いるが、国保の場合、なぜ事業主は対象にならないのか。
A 総務省のモデルに沿って作った条例案である。
- ◎立科町介護保険条例の一部を改正する条例制定について**
Q 第1段階から第3段階までの保険料が安くなるが、その減少分はどこが持つのか。
A 国が2分の1、県と町で4分の1ずつ負担する。

- ◎令和2年度立科町一般会計補正予算（第3号）について**
◎歳入
Q 学校臨時休業対策費補助金とは。
A 3月分の給食食材（牛乳・パン・麺）のキャンセル分を国が補填するもの。
- ◎歳出**
Q 小中学校のエアコン設置はどのように。
A 職員室・事務室・給食室など学習にかかわるクラス以外に空調設備を設置するもので、7月以降、土日も活用し子どものいない時間で設置する。
- ◎児童福祉費のシステム改修とは何か。**
Q 児童手当の支給において、保護者の加入している保険の種類により、費用負担が異なるため、マイナンバーにより、年金機構とリンクさせるためのシステム改修。



『整備される牛鹿川』倒木も見受けられる

- ◎社会教育費の負担金の減額は。**
Q オレゴン市への交流事業だが、新型コロナウイルス流行を受け来年に延期。来年度は3年生も含め、8名に増やし（通常6名）実施予定。
- ◎牛鹿川の改修はどのように。**
Q 河川の法面や民地の立ち木を伐採し、台風などの大雨の折、スミズミに水が流れるように整備する。
- ◎権現の杜公園の修繕と整備は。**
Q 権現の杜公園の隣地2000㎡強を買収し公園として利用予定。ターザンロープが老朽化防腐剤を施した柱にして乗り場の補強を行う。



風の子広場のターザンロープ

- ◎権現山公園西側法面の災害復旧工事はどのように。**
Q 崩れている法面を布団籠で面として補強する。町内業者での指名競争入札で行う予定。耕作できない地権者には補償する。



◎医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情書
発言1 医師の数だけでなく、診療報酬が低い問題や医師の質の問題、また、都市部に偏在していること、産科、小児科などの医師の成り手がいないなどの問題もある。単に数だけ増やせばよいというわけではないと思うが。
発言2 そうはいっても医療をめぐる労働環境は良くない。ともかくも人が不足している。まずは絶対数の不足を何とかしなければいけないのではないか。
委員会では、賛成少数で不採択。

問 今までは一律又は事業者中心に支援を行ってきたが、今後は減収した町民の方の個別支援



4月の小中学校の休校にあわせ、いち早く対応した「子ども弁当補助券」。多くの券が活用された。



問 町民の生活支援に関する資料のイメージ

町長 今年3月に11人の職員が退職、4月には若い職員が亡くなった。働き方に問題がないか、自ら検証すべきでは。

町長 亡くなった職員の4月の労働時間、残業時間はどれほどか。総務課長 プライバシーであり応えられない。

働き方は改善されたか

町長 職員が退職、4月には若い職員が亡くなった。働き方に問題がないか、自ら検証すべきでは。

問 町内業者の経済的打撃は大きい。実態は、飲食業では2割の落ち込み。子ども弁当の弁当当は約5割の利用で効果を上げた。農林課長 農業では、花きは4割、肉牛など3割の落ち込み。

町長 今年3月に11人の職員が退職、4月には若い職員が亡くなった。働き方に問題がないか、自ら検証すべきでは。

町長 亡くなった職員の4月の労働時間、残業時間はどれほどか。総務課長 プライバシーであり応えられない。



村田 桂子

問 首相の「全国一斉休業」要請を受けての対応は適切だったか。

町長 今年3月に11人の職員が退職、4月には若い職員が亡くなった。働き方に問題がないか、自ら検証すべきでは。

新型コロナ対策 町民の負担軽減をどう

町長 今年3月に11人の職員が退職、4月には若い職員が亡くなった。働き方に問題がないか、自ら検証すべきでは。

己負担でお願いしたい。



コロナで町全体が大きな打撃を受けた（西塩沢から）

危機管理対策の現状と課題について



今井 清

問 迅速かつ的確な情報収集方法は。

総務課長 地域防災計画に基づき対応している。災害対策本部の設置により、県・広域・関係機関等と結ぶ緊急連絡体制による情報収集、消防団との連携による情報収集・情報共有を行っている。

問 緊急時の職員体制・連絡体制はどのようなものか。

町長 災害発生前、発生後の動員配備態勢は、「第一次警戒配備」「第二次警戒配備」「非常配備」「緊急配備」とし、災害基準により配備要員は異なっている。

問 新規採用職員11名の研修及びマニュアル作成・訓練を行っている

総務課長 夜間、休日の対応に必要な研修や機器操作研修を行っている。宿直室には機器操作方法のほか、マニュアルや緊急連絡先等を掲示し備えている。

問 正確な情報伝達の方法はどのように行うのか。

総務課長 防災行政無線、有線放送、防災アプリ、ホームページ、広報車等可能な限りの方法で行う。

問 緊急時には、町長が自分の言葉で速やかに語りかけることが安心・安全につながるのでは。

町長 感染症対策において、町民皆様に直接お願いをした。今後も可能な限り継続したい。

問 危機管理体制の具体的な整備はどのように行っているか。



災害復旧現場（県道沿い）

結 「天災は忘れた頃にやってくる」と言うが、今は「今日起こるかもしれない」と考えるべき。「備えよ、常に」の言葉を胸に日常生活を送ることが大切である。

耕福館について



中村 茂弘

問 使用料が高いということで見直しをしたか。

町長 していない。

問 現在の使用料の詳細は。



味噌づくり（耕福館）

町長 今後検討していく。

遊休町有地について

問 6月議会で伺った旧保育園等の町有地は今、どのように進行しているか。

町長 まず、美上下地区の農地について伺いたい。近くに住む人に賃貸している。

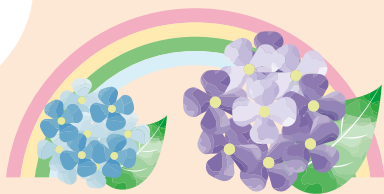
問 簿価で買ってもらおうほうが固定資産税の徴収ができればいいのでは。

町長 いずれにしても検討する。



耕福館

議会の動き (主なもの)



令和2年

4/13 立科町身体障がい者福祉協会総会

4/14 第2回臨時会・定例全員協議会

4/28 水神祭（温井配水池）



5/12 第3回臨時会・定例全員協議会

5/19 川西保健衛生施設組合議会運営委員会

5/20 議会運営委員会

5/27 全員協議会

6/1 第1回立科町議会新型コロナウイルス感染症
対策会議

佐久広域連合議会運営委員会

6/3～12 第2回定例会

6/3 全員協議会

6/7 蓼科山開き・蓼科牧場開き

6/12 全員協議会

6/16 第2回立科町議会新型コロナウイルス感染症
対策会議

6/19 全員協議会

6/25 たてしな保育園幼年消防隊任命式

6/30 蓼科高等学校育成会総会

7/2 森林・林業・林産業活性化促進議員連盟・
長野県連絡会議幹事会（長野市）

7/6 佐久広域連合議会第2回定例会

7/13 北佐久郡老人福祉施設組合議会運営委員会

7/14 定例全員協議会

新型コロナウイルス 感染拡大防止への取り組み



立科町議会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本会議等の傍聴者への対応として、議場等入口に手指消毒液と非接触式電子体温計を設置しました。

傍聴者の皆様には、検温等にご協力いただきました。

議会活動について「ご意見・ご要望」をお聞かせください。

発行／長野県立科町議会 編集／議会だより編集委員会

〒384-2305 長野県北佐久郡立科町芦田2532番地 TEL(0267)88-8413(直通) 有線2311 FAX(0267)56-2310

E-mail gikai@town.tateshina.nagano.jp URL <http://www.town.tateshina.nagano.jp>

編集後記

新型コロナウイルス感染症により、中止・自粛となったことは、会議・宴席・会合・旅行。翻って活発に行われたことは、オンライン会議・オンライン飲み会。そして何より家族という時間が長くなったのではないだろうか。

新型コロナウイルスの収束後は「コロナ前の時代」と「コロナ後の時代」の間に、目に見えない線がはつきりと引かれることでしょう。新しい生活様式とそれに伴う新しい価値観の創出の中で地方自治はどのようなあるべきか。地域力が試される時、今から備える体制づくりが必要だと思います。

今井 英昭

○今後とも「議会だより」をご愛読ください。

議会だより編集委員会

園村田 桂子 園芝間 教男

森澤 文王 今井 英昭

中村 茂弘 中島 健男

今井 健児